

別紙

見積項目は、次に示す項目別に作成するものとする。

作業項目	作業内容
1 業務計画	・設計に必要な資料の収集及び貸与資料の情報を把握し、業務の目的・主旨を十分に把握したうえで、業務計画を作成する。
2 現地踏査	・設計に先立ち、現地踏査により現地の状況（地形、法面状況、露出土壌、現場周辺）の概況を把握するとともに想定される集水域となる範囲及び流出路等を確認する。
3 対策工法の検討	・各々の現地踏査の結果より、対策工法を検討する。蛇籠等を想定しているが、法面崩壊に対する対策工法だけではなく、原因を取り除く・軽減する等の工法も含めて対策可能な工法を比較検討し、対策方法を決定する。※1 ・工法選定：3案以上
4 構造計算	・対策工法検討結果より、設計施工上の基本的な条件などの確認、安定計算及び断面応力度計算を必要に応じて行う。
5 設計図	・対策工法検討結果より、各々の工事発注に必要な平面図、構造一般図、土工図、撤去復旧図、仮設図を作成する。
6 数量計算書	・対策工法検討結果より、各々の工事発注に必要な数量計算を作成する。
7 施工計画の作成	・各々の施工計画、仮設計画、工程計画等を作成する。
8 特記仕様書の作成	・主要工事について、各々の特記仕様書を作成する。
9 概算工事費積算	・対策工法検討結果より、各々の各工種の単価を作成し概算工事費を作成する。
10 照査	・照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。
11 報告書作成	・成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。

- ※1
- ・椎池開水路は盛土区間である。
 - ・鶉の池開水路は排水管及び集水柵も含まれる。